

年頭あいさつ

現場重視を政治姿勢の基本に置き、精力的に「動いて」まちの課題に取り組みます

あけましておめでとうございます

令和6年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、2月に「ラピダス社」の本市への立地が決まるという、今後のまちの発展に大きな期待感をもたらす出来事がありました。現在、令和7年のパイロットライン稼働に向け、急ピッチで建設が進められており、市としても、完成に向けインフラ整備を行うなど全力で支援してまいります。

5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行し、社会全体がアフターコロナへシフトされ、本市においても、久しぶりに人数制限のないイベントや祭りなどが開催されました。

8月には、道の駅サーモンパーク千歳がグランドオープンし、たいへん多くの皆さまにご利用いただきました。

また、新千歳空港においても、昨年10月の国内線乗降客数が、過去最高を記録するなど、航空需要も着実に回復しており、市内観光地やまちの賑わいを取り戻す年でありました。

一方で、3月には、市内養鶏場において、高病原性鳥インフルエンザ陽性が確認され、感染が拡大したことに伴い、北海道が主体となり、道職員や自衛隊員の

皆さまなどの協力のもとに防疫作業が行われました。

本年は、市民の皆さまが安全安心、快適に暮らせるよう、さまざまな分野の課題解決に向け、果敢に挑戦してまいりますと考えております。

まずは、私の市長就任後、最大のミッションであります「次世代半導体の国産化を目指した国家プロジェクト」への取り組みであります。

今後、本市への半導体関連産業などの集積による、地域経済の活性化、人材育成と雇用機会の拡大、人口増など、さまざまな分野への波及効果が期待されますことから、引き続き、ラピダス社の事業が円滑に進むよう国や北海道とも連携し、インフラ整備などの関連事業をスピード感をもって進めてまいります。

なお、令和6年12月を目前に、ラピダス社立地による本市への波及効果を分析し、まちづくりの方向性を示す「将来ビジョン」を策定することとしております。

昨年、全国の半導体関連の企業約4,000社に対して、本市への立地意向を確認する調査を行い、現在、本市への進出意向がある企業数や規模などの分析を進めておりますが、この結果を踏ま

への支援策といたしまして、昨年末に、全市民を対象とした「市民応援商品券2024」の配布を決定しました。

さらに、記録的な猛暑が続いた昨年は、保育や教育現場などにおいて、子どもたちの安全や学習機会の確保に大きな影響が生じました。このことから、順次、各施設へのエアコンの設置を進めてまいります。

このほか、障がいのある方や意思疎通に配慮が必要な方を支援するための「コミュニケーション条例」の制定や、「子ども子育て支援事業計画」の第3期計画策定に向けた作業を本格化してまいります。

公共交通については、市民生活に不可欠となる路線バスの安定運行に向け、バス運転手の確保に努め、路線の効率化や自動運転、AIオンデマンドなど新たな交通システム導入に向けた検討を進め、安全安心に向けた各種取り組みを着実に進めてまいります。

活力あるまちづくりに向けた取り組みとしては、本市の発展の原点ともいえる新千歳空港が、令和8年に開港100年を迎えることから、この節目を次の世代につなげ、記憶に残る年となるよう、今年度内に「空港開港100年に向けた実行委員会」を立ち上げ、機運醸成のための具体的な取り組みを進めてまいります。

本年4月には、市内では3校目となる全日制高等学校、「日本航空高等学校北海道」が開校いたしますが、観光需要の回復に伴い、特に、グランドハンドリングや保安検査の人手不足が著しいことから、今後、同校から多くの航空事業に関わる人材が育っていくことを期待しております。

また、同じく4月に、道央廃棄物処理組合の焼却処理施設が供用開始となり、焼却処理施設の焼却炉の高性能化により、これまで燃やせないごみとしていた容器包装以外のプラスチック製品や革・ゴム製品などを、燃やせるごみとして焼却処理することとしており、今後「安全」・「安心」・「安定」したごみ処理の継続と、施設の管理運営に努めてまいります。

このほか、本市の特性である農業・工業・観光などの地域資源を生かした地域経済の活性化や、企業誘致の推進に取り組むとともに、まちの賑わい創出に向けては、「ちとせ未来ビジョン」の具現化に向けた調査を進めます。エリアマネジメント団体の設立に向け、「ちとせまちなかビジネスコンテスト」を開催し、グリーンベルト周辺地域の活性化に取り組むなど市民の皆さまや事業者、行政が連携して、時々に変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、活力あるまちづくりを目指してまいります。

令和6（2024）年の一年一字「動」

【ドウ・うご・く・うご・かす】

「精力的に《動く》現場重視の姿勢」と、「まちの大きな転換期を、スピード感と柔軟性を持って《動く》一年にしたい」という思いを込めています。



えながら、新たな工業団地の造成など、本市のさらなる発展につながる具体的な取り組みを進めてまいります。

また、市民生活の安全安心と、活力あるまちづくりに向けた取り組みにつきましても、積極的に進めてまいります。まず、物価高騰に対する市民の皆さま

市長に就任して、初めての新年を迎えましたが、私の想いを皆さまと共有し、同じベクトルに向かつてさらなるまちの発展を目指すため、これまで実施していた「一年一字」を継承し、新たな年への想いを表したいと思っております。

今年の一字は「動」（どう・うご）としました。

私は、「現場重視」を政治姿勢の基本に置きながら、精力的に「動いて」、皆さまと意見交換を行うなかで、まちの課題に取り組んでまいりたいと思っております。

また、ラピダス社の立地により、まちが大きな転換期を迎えておりますが、この機を、市民、事業者、行政それぞれが役割を担いながら「動き」、スピード感と柔軟性をもって対応していく、このような思いをもって、「動」を選びました。

今後も、目まぐるしく変わる社会の「動き」を見極めながら、第7期総合計画の将来都市像の実現に向けた取り組みを進め、将来にわたって、市民の皆さまに「住んでよかった」「住み続けたい」と感じてもらいたくまちづくりを進めていく所存です。

本年もどうか、皆さまの一層のご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして、幸多い素晴らしい一年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

道の駅サーモンパーク千歳
祝リニューアル(グランド)オープン